

|   |   |      |     |  |
|---|---|------|-----|--|
| 件名  | たちばな高齢者在宅サービスセンター（たちばなデイサービス）の廃止予定の見直し、存続に関する陳情 |      |     |  |
| 提出者住所氏名   | 墨田区文花<br>B                                      |      |     |  |
| 受理年月日   | 令和2年6月9日  | 受理番号 | 第3号 |  |
| <p>要旨</p> <p>たちばな高齢者在宅サービスセンター（たちばなデイサービス）の廃止予定を見直し、存続してください。</p> <p>（理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たちばなデイサービスは、墨田区の福祉の大地にしっかりと力強く根を広く張ったデイサービスの大木です。</li> <li>・ その大木を切らなくて良かったという日が、近い将来絶対来ます。</li> <li>・ 介護施設とその職員は、医療現場の病棟、ベッド、医師、ワクチン、マスクに匹敵するような貴重な存在です。</li> <li>・ 最近の特別養護老人ホームでの集団虐待事件は、職員の数・スキル不足が原因と考えます。</li> <li>・ 色々なお店や物と同様、介護施設と職員にも質の差とカラーの違いがあることをぜひ知ってください。</li> <li>・ 1つの大きな施設をつぶせば、介護難民が大量に生まれます。</li> <li>・ 認知症の85歳の母は、すでに介護難民予定になりました。</li> <li>・ 認知症対応型デイサービスの少なさ（7施設）を知ってください。その本店がたちばなデイサービスです。水を移すバケツが足りません。</li> <li>・ ケアマネージャー、現場職員を含めた専門者会議を再度開くべきです。</li> <li>・ デイサービスの役割は、7割以上、介護家族の休息のための存在です。</li> <li>・ そもそも福祉同士の施設の奪い合いは、福祉増進になじみません。一步（30人）進んで二歩（130人）下がることになります。</li> <li>・ どうか、たちばなデイサービス約35人の職員、約130人の利用者、約25人以上の認知症、そして多くの介護家族を救ってください。</li> <li>・ 墨田区の中に、きっと墨田の渋沢栄一がいるはずです。</li> <li>・ 廃止予定の見直しを、どうかお願いします。</li> <li>・ 85歳の母と、あと5年は、このまま穏やかに生きたいです。</li> </ul> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |   |      |     |  |